

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成27年1月9日

協議会名: 富山県生活路線バス協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	滑川 富山駅前～滑川駅前	ICカードの普及により、定期外収入の6割がカード利用となった。行き先別の時刻表を作成し、利用者に配布を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	B 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 運行回数を維持し、厳しい事業環境のなか、ノーマイカー運動等関係自治体との利用促進の連携を図った。 運輸収入は98.5%となった。	利用実態に応じたダイヤの編成と運行区間の見直しが必要
	猪谷 富山駅前～猪谷	ICカードの普及により、定期外収入の6割がカード利用となった。行き先別の時刻表を作成し、利用者に配布を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 運行回数を維持し、厳しい事業環境のなか、ノーマイカー運動等関係自治体との利用促進の連携を図り、通学利用者を中心に利用者は増加し、運輸収入は110%となった。	一定地域までの利用者はあるものの、岐阜県境までの運行で、地域の過疎化の進展もあり、いかに維持運営していくかが課題
	大泉經由五百石 富山駅前～五百石駅前	ICカードの普及により、定期外収入の6割がカード利用となった。また、運輸収入も増加した。行き先別の時刻表を作成し利用者に配布を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 運行回数を維持し、厳しい事業環境のなか、ノーマイカー運動等関係自治体との利用促進の連携を図り、通学利用者を中心に利用者は増加し、運輸収入は107%となった。	黒字に転化する見込み

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	富山～高岡 富山駅前～高岡駅前	ICカードの普及により、定期外収入の6割がカード利用となった。行き先別の時刻表を作成し、利用者に配布を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	B 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 運行回数を維持し、厳しい事業環境のなか、ノーマイカー運動等関係自治体との利用促進の連携を図った。運輸収入は98%となった。	北陸新幹線開業による、新幹線「新高岡駅」への利用誘発を図り、路線を延伸
	富山～小杉 富山駅前～小杉駅前	ICカードの普及により、定期外収入の6割がカード利用となった。行き先別の時刻表を作成し、利用者に配布を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	B 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 運行回数を維持し、厳しい事業環境のなか、ノーマイカー運動等関係自治体との利用促進の連携を図った。運輸収入は93%となった。	沿線の学校に通学する利用者増加対策
	山田 富山駅前～山田行政センター	ICカードの普及により、定期外収入の6割がカード利用となった。行き先別の時刻表を作成し、利用者に配布を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 運行回数を維持し、厳しい事業環境のなか、ノーマイカー運動等関係自治体との利用促進の連携を図り、運輸収入は101%となった。	一定地域までの利用者はあるものの、山間地域の過疎化の進展もあり、いかに維持運営していくかが課題
	ファボーレ経由萩の島 富山駅前～富山駅前	ICカードの普及により、定期外収入の6割がカード利用となった。行き先別の時刻表を作成し、利用者に配布を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	B 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 運行回数を維持し、厳しい事業環境のなか、ノーマイカー運動等関係自治体との利用促進の連携を図った。運輸収入は93%となった。	ショッピングセンターへの利用が多い路線であるため、その特性を強化

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	富山国際大学 富山駅前～富山国際大学	ICカードの普及により、定期外収入の6割がカード利用となった。また、沿線学校の利用誘発を図るため、増便・定期運賃新設により利用者は増加した。行き先別の時刻表を作成し利用者に配布を行った	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 運行回数を維持し、厳しい事業環境のなか、ノーマイカー運動等関係自治体との利用促進の連携と沿線学校との連携を図り、通学利用者を中心に利用者は増加し、運輸収入は104%となった。	沿線の学校に通学する利用者さらなる増加対策
	富山国際大学(市民病院経由) 富山駅前～富山国際大学	ICカードの普及により、定期外収入の6割がカード利用となった。行き先別の時刻表を作成し、利用者に配布を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 運行回数を維持し、厳しい事業環境のなか、ノーマイカー運動等関係自治体との利用促進の連携を図り、運輸収入は105%となった。	自家用車利用から公共交通への利用促進に関し、行政と連携しPRに取り組む
	月岡団地経由福沢 富山駅前～福沢	ICカードの普及により、定期外収入の6割がカード利用となった。行き先別の時刻表を作成し、利用者に配布を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 運行回数を維持し、厳しい事業環境のなか、ノーマイカー運動等関係自治体との利用促進の連携を図り、運輸収入は108%となった。	自家用車利用から公共交通への利用促進に関し、行政と連携しPRに取り組む
	熊野経由八尾 富山駅前～八尾鏡町	ICカードの普及により、定期外収入の6割がカード利用となった。行き先別の時刻表を作成し、利用者に配布を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	B 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 運行回数を維持し、厳しい事業環境のなか、ノーマイカー運動等関係自治体との利用促進の連携を図った。運輸収入は96%となった。	自家用車利用から公共交通への利用促進に関し、行政と連携しPRに取り組む
	城端線 富山駅前～城端行政センター前	今年度より新規対象路線。砺波市、南砺市地区から富山市中心部への通勤利用者の利便のため、平日4往復運行し利用者は増加傾向にある	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 公共交通の利用促進と利用回数の維持向上。 平成24年12月より増便運行を行い、利用者は年々増加している。	北陸本線3セク運営化による運賃体系見直しの検討

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
加越能バス(株) 20系統	脇 起点:高岡駅前 終点:脇	高齢者に利用しやすい定期券 の値下げも行い、PRL販売し たが減少した	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。	B 今年度の利用者数は、126,709人であり、 前年度と比べて約10%程度減少した。 今後もさらに利用維持を図っていく。	一部を新高岡駅まで延伸し、ダイヤの 見直しを行い、潜在的な利用者の掘り 起こしを行い、収支改善に努める。
	氷見中田 起点:高岡駅前 終点:中田	中田地区の要望を受け、延伸 し利便性向上を図った	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。	A 今年度の利用者数は、41,950人であり、 前年度と比べて約1%増加しており、 利用者数の維持・向上が図られている。	一部を新高岡駅まで延伸し、ダイヤの 見直しを行い、市町村と連携し潜在的 な利用者の掘り起こしを行い、収支改 善に努める。
	守山經由氷見 起点:高岡駅前 終点:氷見市民病院	高頻度の路線本数を維持、確 保し、また高齢者に利用しやす い定期券の値下げを実施し、 運輸収入も増加した	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。	A 今年度の利用者数は、148,296人であり、 前年度と比べて約1%増加しており、 利用者数の維持・向上が図られている。	一部を新高岡駅、済生会病院まで延 伸し、市町村と連携し潜在的な利用者 の掘り起こしを行い、収支改善に努め る。
	高岡・坪池 起点:高岡駅前 終点:坪池	高齢者に利用しやすい定期券 の値下げも行い、PRLし、運輸 収入も増加した	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。	A 今年度の利用者数は、76,041人であり、 前年度と比べて約4%増加しており、 利用者数の維持・向上が図られている。	一部を新高岡駅まで延伸し、ダイヤの 見直しを行い、市町村と連携し潜在的 な利用者の掘り起こしを行い、収支改 善に努める。
	伏木經由氷見 起点:高岡駅前 終点:氷見市民病院	高齢者に利用しやすい定期券 の値下げも行い、PRLしたが運 輸収入は若干減少した	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。	B 今年度の利用者数は、38,660人であり、 前年度と比べて若干の減少したが、 微減にとどまっており、利用者の維持が 図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生 会病院まで延伸し、利便性向上を図 る。市町村と連携し潜在的な利用者の 掘り起こしを行い、収支改善に努める。
	高岡ふしき病院經由氷見 起点:高岡駅前 終点:氷見市民病院	高齢者に利用しやすい定期券 の値下げも行い、PRLしたが運 輸収入は若干減少した	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。	A 今年度の利用者数は、36,548人であり、 前年度と比べて若干の減少したが、 微減にとどまっており、利用者の維持が 図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生 会病院まで延伸し、利便性向上を図 る。市町村と連携し潜在的な利用者の 掘り起こしを行い、収支改善に努める。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
加越能バス(株) 20系統	仏生寺 起点:高岡駅前 終点:氷見市民病院	高頻度の路線本数を維持、確保し、また高齢者に利用しやすい定期券の値下げを実施し、運輸収入も増加した	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A 今年度の利用者数は、90,064人であり、前年度と比べて約1%増加しており、利用者数の維持・向上が図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生会病院まで延伸し、利便性向上を図る。市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
	石動 起点:高岡駅前 終点:石動駅前	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRLしたが運輸収入は減少した	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B 今年度の利用者数は、40,172人であり、前年度と比べて約10%程度減少した。今後さらに利用維持を図っていく。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生会病院経由へ変更し、利便性向上を図る。市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
	小泉・中田団地經由中田循環 起点:高岡駅前 終点:高岡駅前	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRL運輸収入は増加した	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A 今年度の利用者数は、19,905人であり、前年度と比べて約1%増加しており、利用者数の維持・向上が図られている。	4路線を1つの路線に統合し、利用者にわかりやすい路線として運行。新高岡駅経由とし利便性向上を図る。
	水戸田・中田団地經由中田循環 起点:高岡駅前 終点:高岡駅前	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRL運輸収入は増加した	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A 今年度の利用者数は、21,973人であり、前年度と比べて微増だが増加しており、利用者数の維持・向上が図られている。	
	小泉・済生会經由中田循環起 点:高岡駅前 終点:高岡駅前	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRL運輸収入は増加した	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A 今年度の利用者数は、20,096人であり、前年度と比べて約5%増加しており、利用者数の維持・向上が図られている。	
	小泉・水戸田經由中田循環 起点:高岡駅前 終点:高岡駅前	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRL運輸収入は増加した	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	A 今年度の利用者数は、21,778人であり、前年度と比べて約2%増加しており、利用者数の維持・向上が図られている。	
	職安・富大附属病院 起点:職業安定所前 終点:富山大学附属病院	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRLしたが運輸収入は若干減少した	A 計画どおり事業は適切に実施されている。	B 今年度の利用者数は、61,575人であり、前年度と比べて若干の減少したが、微減にとどまっており、利用者の維持が図られている。	小学生などの利用者ニーズにあった運行系統、ダイヤの見直しを行い、潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
加越能バス(株) 20系統	加越 起点:石動駅前 終点:庄川町	高齢者に利用しやすい定期券 の値下げも行い、また沿線にあ る高校生の定期収入増加によ り運輸収入は増加した	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。	A 今年度の利用者数は、48,877人であり、 前年度と比べて約12%増加しており、 利用者数の維持・向上が図られている。	利用者ニーズにあった運行系統、ダイ ヤの見直しを行い、潜在的な利用者の 掘り起こしを行い、収支改善に努める。
	砺波立野脇 起点:砺波市役所前 終点:立野脇	高齢者に利用しやすい定期券 の値下げも行い、PRLしたが運 輸収入は若干減少した	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。	B 今年度の利用者数は、37,368人であり、 前年度と比べて若干の減少したが、 微減にとどまっており、利用者の維持が 図られている。	利用者ニーズにあった運行系統、ダイ ヤの見直しを行い、また市町村と協力 し、潜在的な利用者の掘り起こしを行 い、収支改善に努める。
	城端經由五箇山 起点:高岡駅前 終点:荻町神社前	H26.10.1より「世界遺産バス」 へ統合。観光と生活路線として 運行したが若干減収となった。	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。 11/11～12/2間 大鋸屋地 内工事により迂回運行。	A 今年度の利用者数は、75,061人であり、 前年度と比べて減少したが、本数等 利用者の維持が図られている。	H26.10.1～世界遺産バスを運行して おり、観光客にも対応した利用促進に 取り組む。
	庄川町 起点:高岡駅前 終点:庄川町	高齢者に利用しやすい定期券 の値下げも行い、PRLしたが運 輸収入は若干減少した	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。 10/1～10/31間 庄川地内 工事により迂回運行。	A 今年度の利用者数は、64,241人であり、 前年度と比べて若干の減少したが、 微減にとどまっており、利用者の維持が 図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生 会病院經由へ変更し、利便性向上を図 る。市町村と連携し潜在的な利用者の 掘り起こしを行い、収支改善に努める。
	小牧 起点:高岡駅前 終点:小牧堰堤	高齢者に利用しやすい定期券 の値下げも行い、PRLしたが運 輸収入は若干減少した	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。 10/1～10/31間 庄川地内 工事により迂回運行。	B 今年度の利用者数は、54,156人であり、 前年度と比べて若干の減少したが、 微減にとどまっており、利用者の維持が 図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生 会病院經由へ変更し、利便性向上を図 る。市町村と連携し潜在的な利用者の 掘り起こしを行い、収支改善に努める。
	戸出団地 起点:職業安定所前 終点:砺波総合病院前	高齢者に利用しやすい定期券 の値下げも行い、PRLしたが運 輸収入は若干減少した	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。	B 今年度の利用者数は、57,651人であり、 前年度と比べて若干の減少したが、 微減にとどまっており、利用者の維持が 図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生 会病院經由へ変更し、利便性向上を図 る。市町村と連携し潜在的な利用者の 掘り起こしを行い、収支改善に努める。
	若林 起点:砺波市役所前 終点:石動駅前	高齢者に利用しやすい定期券 の値下げも行い、PRL運輸収 入は増加した	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。	A 今年度の利用者数は、25,598人であり、 前年度と比べて約1%増加しており、 利用者数の維持・向上が図られている。	イオン砺波店が沿線に開業予定。そ の特性を強化し増収に努める

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
西日本ジェイアールバス株式会社	系統名:名金 運行区間:金沢駅～森本駅～福光 駅	利用者ニーズに合わせ、経路 (經由停留所)変更、ダイヤ改 正を施行し、利便性の向上なら びに利用者数の増加に努め た。	A 計画どおり適切に実施され た	B 少子化による通学需要の減 少等により、利用者数が前 年度に比べ約12%減少し た。	新型車両を導入し、修繕費・燃 料費等の経費削減に努めると ともに、ICカードシステムを導入することにより、利便性の向上を図り、利用者の増加に努める。